

あなたの声を市政に届ける

1か月で100人以上の方からお話をお聞きしました。
みなさん、お時間をいただき、ありがとうございますm(_ _)m
一人ひとりが大切にされるまちを目指し、以下に取り組みたい
と考えています。

どんな子も、学び、 のびのび遊ぶ権利を大切にします

家庭、地域、学校、行政が、それぞれの役割を果たし、
連携もして、子どもの「学び」「遊び」
「休む」機会を保障することが大切です。

- 教育目的や子どもの特性にあわせた効果的な
学校教育でのICTの活用
- 余暇を豊かに過ごすための、多様な遊び場の拡充
- 図書館へのアクセス拡充
- 子育て支援や文化芸術活動、生涯学習活動を行う
市民団体や地域団体を応援し、地域で子どもを育む



高齢者も赤ちゃんも、 暮らしやすく

「一人で暮らしとったら、一日誰ともし
ゃべらんし、笑うこともないもん」「コロ
ナ禍で糸島に引っ越してきて、誰も知
り合いがない中で子育てをしている」
という声もお聞きしました。社会活
動への参加や外出を楽しむことは、暮
らしを豊かにし、支えあいの関係づく
りにもなります。

- サロンなど地域の中での集いの場の維持
- 地域の現状にあった移手段の確保
- 子育て中の親の孤立を防ぐため、
託児付きの学習機会やファミリーサポ
ート事業や子育て相談の利用促進、
地域での仲間づくりの仕組みづくり



病気やハンデがあっても、 安心して働き続ける支援

「親の介護と自分の子育てでダブルケ
ア。昔のように時間は使えないが、働
き続けたい」「夫が病気で離職。主婦
専門の時間が長かったが、これからは
自分が働きたい」など、限られた時間
でも働き続けたい方も増えています。家
族との時間を大切に、納得感のある
働き方支援に取り組みます。

- 個人や企業向けのテレワークや
ワークシェアの推進
- 出産、子育て、不妊治療など女性特有の
人生ステージに合わせた再就業の支援
- 保育に関する窓口対応のさらなる充実

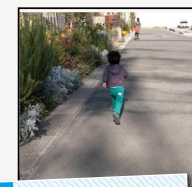
暮らしと政治を身近に

話してみると、暮らしと政治が繋がって
いることに気づき、市民として「限られ
た予算の中で、将来像を見据え、何を
やるべきか」を考えている方がたくさん
いることが分かりました。

- 市民と議員の直接対話の実施
- 子どもを含め、あらゆる人のまちづくり
への参画の機会の確保

さとうみちこ応援団活動中

メンバーは、全員、子育てや介護、真っ最中。
「4時半に母がデイサービスから帰ってくるの」
「交通当番終わって仕事に行くまでの7:30～8:30は、街頭挨拶に合流できるよ」
と、時間をやりくりして、動いています。
街頭に立っていたら、車の窓を開けて「応援してますよ！風邪ひかないように！」
と声をかけていただいたり、ポスティングから、「女性の力が必要！」とメッセー
ジ付きのハガキを送ってくださった方がいたり、とても励みになっています。



子連れで
ポスティング



事務所も手作り



朝のご挨拶を
しています